

JICA チェア「日本の戦後 80 周年記念シネフォーラム」 (仮訳)

2025 年 8 月 12 日 プンタレーナス
JICA コスタリカ
所長 吉田 憲

コスタリカ大学プンタレーナス校 講師・JICA 講座コーディネーター
ホナタン・サラス・アルバラード様

ナショナル大学 講師・「現代日本」講座担当
ジェシカ・バルガス・マドリガル様

コスタリカ大学、国立大学の関係者の皆様、そして学生の皆さん、
おはようございます。

私は吉田憲と申します。JICA コスタリカの所長として、日本の政府開発援助 (ODA) を担う独立行政法人 国際協力機構 (JICA) の代表を務めています。

まず、このシネフォーラムを開催していただいたことに心から感謝申し上げます。本活動は、日本研究の発展を支援するための「JICA チェア」プログラムの一環として、JICA とコスタリカ大学、国立大学が共同で実施しているものです。

最初に、私たち JICA について少しご紹介いたします。

JICA (国際協力機構) は、日本政府の政府開発援助 (ODA) を通じて、さまざまな形の国際協力を担っている実施機関です。日本国民は世界各国と協力し、知識の交流、社会経済の発展、そして文化的・友好的な関係の強化を進めています。

そうした意味でも、長年にわたり様々な分野で JICA と協力して下さっているコスタリカ大学 (UCR) とナショナル大学 (UNA) の皆様と、この活動を共に行えることを大変うれしく思います。本シネフォ

ーラムは、1945年、長崎に投下された原子爆弾をテーマとして、昨年
に続き2年連続で開催されるものです。この映画、「8月の狂詩曲」
は著名な黒澤明監督により制作され賞賛されています。

私は長崎で生まれ育ちました。幼い頃から、原子爆弾の恐ろしさにつ
いての話を聞きながら育ちました。そのため、小学校・中学校・高校
を通じて、友人達と共に「原子爆弾のない世界、平和な世界」をどう
作るかについて話し合ってきました。

おそらく、軍隊を持たない国であるコスタリカに暮らす皆さんも、平
和についてたくさん話をし、耳にしてきたことと思います。

このように、日本の歴史・文化・発展を理解し、コスタリカ社会で活
用頂くために、連携する大学では様々な教材や活動を活用し、日本に
対する関心を広げ、深める取り組みを進めています。今回のシネフォ
ーラムもその一つです。

私たちは、この「JICA チェア」が日本研究の基盤づくりに貢献するこ
とを願っています。その一環として、ナショナル大学が正規科目「現
代日本」をカリキュラムに導入してくださっていることを、大変うれ
しく思います。来年はコスタリカ大学でも日本に関する授業が行われ
ることを期待しています。

また、この機会にお知らせしますが、9月8日の週にはここ、プンタ
レーナスやサンホセ、エレディアで、著名な大学人である加藤宏教授
が、皆さんと講義や意見交換を行います。ぜひこの機会を楽しんでい
ただければと思います。

これからも、コスタリカと日本が信頼と友情の関係をさらに深めてい
けることを願っています。そして、両国に関心を持つきっかけとなる
機会を、もっと多く作っていきたいと思います。

本日は、この素晴らしい活動に私たちをお招きいただき、誠にありが
とうございました。

本当にありがとうございました。